

# 令和7年10月 主な市民の声

問合せ：秘書広報課 ☎773-6658

## ◇市営駐車場（浦佐駅利用者用）について

### 【ご意見・ご提案など】

今年になって、浦佐駅を利用する方が増えたのか市営駐車場が満車になり路上駐車が大変増えています。駐車禁止の勧告はしているようですが、一向に減りません。市営駐車場を本来の『浦佐駅利用者用』以外で利用している方もいるのではないのでしょうか。

現状で市長、市議会議員の中ではこの問題に関して声はないのでしょうか。

提案ですが、

①無料駐車場をやめて有料にする。

②近隣に第二市営駐車場を作る。

で現状を改善できると思います。

有料にすることで、本来の『浦佐駅利用者用』以外で利用する人は減ると思います。南魚沼市としてどう対応するか回答をお願いいたします。

### 【お返事】

・『浦佐駅利用者用』以外で利用について

#### 【回答】

浦佐駅利用者以外の利用者の有無については、調べるのが難しい状況です。ご不便をおかけしておりますが、ご容赦願います。

・この問題に関しての声について

#### 【回答】

昨年12月議会において、田中せつ子議員より「浦佐駅周辺の利便性向上について」質問がありました。

市としては、「民間の駐車場が点在している状況を踏まえて、民業圧迫の観点から新たな駐車場の整備は考えていないこと、路上駐車については、モラルの問題であり、違法に駐車している場合には警察に連絡をし、しかるべき処置をお願いしていること」と答弁をしています。

## ○ご提案について

### ①無料駐車場をやめて有料にする

#### 【回答】

有料にすることで路上駐車の増加などが懸念されますので、現時点では考えておりません。

### ②近隣に第二市営駐車場を作る

#### 【回答】

先ほど回答内容のとおり、新たに第二駐車場を整備する予定はありません。

路上駐車につきましては、警察に連絡し対応していただきます。

限られた区画ですので利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

(担当：財政課)

## ◇ポータルアプリ hugnote(ハグノート)について

### 【ご意見・ご提案など】

今年度から保育園ではポータルアプリ hugnote が開始され、毎日利用させていただいています。慌ただしい朝の時間に電話をかけなくても、アプリで出欠の連絡ができ本当に有り難く思っています。

また、保育園の先生方によるお知らせも楽しく拝読しています。特に、撮影いただく子どもの写真がどれも大変可愛く、普段わからない園での様子を拝見する事ができ嬉しく思います。園から帰宅した子どもとの話題にも写真を通して盛り上がっています。

お知らせの写真についてですが、現在は薄く転載禁止のレイヤーがかかっています。hugsnap という同アプリの写真提供拡張サービスの為のようですが、ぜひこれらの写真も手元に残したく思っています。今後、hugnote での写真販売サービスの予定はありますでしょうか。

また、数年前より園での写真販売としてフォトレコのサービスも開始されました。フォトレコの業者様と連携をする等も考えられるかと思えます。

日々成長する子どもたちを、その時々写真と共に振り返

りたく思っております。

### 【お返事】

保育園アプリ（hugnote）につきまして評価いただきありがとうございます。

公立保育園での写真については、行事の際は地元カメラマンや写真店に対して撮影及び販売を依頼しておりますが、お問い合わせは、保育士が撮影した通常保育時の写真販売を希望されているものと思います。

市では、この度の保育園アプリの導入に当たっては、児童・保護者・保育園の三者が満足するよう様々な取り組んできたところですので。今後もアプリのさらなる活用を進めるため、保育現場の意見も踏まえながら、写真販売も含めて検討していきたいと考えております。

（担当：子育て支援課）

## ◇海外の大学へ進学するための支援について

### 【ご意見・ご提案など】

「南魚沼市出身の学生が海外大学へ進学するための支援」をご検討いただきたいという提案です。

日本から海外の大学へ進学することは、現在でも非常に高いハードルがあります。語学や経済的な問題、情報不足など、学生が海外を目指すには多くの壁が存在します。私はそれを無理に勧めるつもりはありませんが、希望する学生が一步を踏み出せる環境を整えることは、今後の南魚沼市にとって非常に有意義だと考えます。

南魚沼市は国際大学（IUJ）を有し、他の地域に比べて国際色豊かな環境を持っています。この特徴を活かし、市として海外大学進学支援や国際的な教育プログラムを充実させることで、「外へ挑戦する若者」と「世界から訪れる人々」の両方が育つ街づくりができると思います。

また、こうした取組みは教育面だけでなく、経済的にも良い影響をもたらします。たとえば、私が現在暮らすロンドンでは、バラマーケットという市場で三条市の刃物を見つけました。新潟県の技術が世界に届いていることを目の

当たりにし、強い感銘を受けました。南魚沼市の誇るお米や日本酒も、同様に海外市場で十分に通用します。教育と経済の両面で国際化を推進することは、地域の新たな発展につながると信じています。

「最上級の証明は経験である」という言葉の通り、実際に海外で学び、見て、感じる経験は何ものにも代えがたい財産です。そうした経験を志す若者を一人でも取りこぼさない。そのような街づくりを南魚沼市に期待しています。

### 【お返事】

現在、海外の大学進学への支援につきまして、市では奨学金制度など直接的な支援は行っておりません。海外の大学への進学は費用負担が大きく、学生の負担軽減を図るためには、給付型の奨学金制度が適していると思われませんが、学生に対する大きな支えとなることが予想される一方で、1人当たりに対しての支援金額が多大となることとなり、公平性の観点から実施には慎重な検討が必要であると考えています。

広い視野を持った人材育成のため、市では、中学生12名と高校生4名を、アメリカ合衆国（ワシントンD.C.・ニューヨーク）へ毎年派遣しています。この事業では、中学生高校生が多様な人種と文化に触れ人権や平和について学び考えるとともに、国際的な視野を持った次世代の人材として成長するための経験を培うことなどを目的に実施しています。研修に参加した生徒からは、海外に留学して学びたい、将来は海外で仕事をしたいといった声が多数聞かれており、夢が実現することを強く期待しています。

また、海外で学ぶために必要となる英語について、早い段階から意欲的に取り組めるよう、英語検定の受検料を補助しています。中学生で英検3級以上の力を身につけ、英語を用いたコミュニケーションができる人材に成長してもらいたいと考えています。

このほか、市では起業、創業の支援としてスタートアップに対する補助金等を充実させており、海外のマーケットに直接触れる機会の創出を可能としています。将来的には海外派遣事業と共に充実した国際化の施策にしていきたい

と考えています。

一方、南魚沼市にある「県立国際情報高校」が来年度末で閉校し、令和9年度より「県立国際フロンティア高校（仮称）」として開校することが発表されています。国際フロンティア高校では授業を英語のみで行う教科もあり、ケンブリッジ国際教育プログラムによるカリキュラムを履修することで、卒業後は海外の大学への進学も可能となると伺っています。南魚沼市の中学生が海外の大学を目指す際の進学先として、近道になるのではないかと期待しており、近隣の中学校との連携について県と協議を行っています。

海外で学ぼうとする若者の支援につきましても、これらの取組の延長線上にあるものと認識しております。南魚沼市の児童生徒が海外も含めた様々な選択肢に目を向けられるよう、今後も後押ししていきたいと考えています。

（担当：学校教育課、企画政策課）